

※入院治療では赤字になる場合があるのでご注意ください

光晴会病院化学療法委員会
2018年10月20日改訂

ザルトラップ+外来型 FOLFIRI 療法

患者番号：&tagPatNo& 氏名：&tagPatName& 性別：&tagPatSex&

生年月日：&tagPatBirth& 年齢：&tagPatage&

対象：治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌（オキサリプラチンを含む化学療法後）

薬液注入ルート；（ポート 末梢点滴静注 CVライン）

開始年月日； 年 月 日

投与間隔； 2週を1クール

体格； 身長 _____ cm 体重 _____ kg 体表面積 _____ m²

使用薬剤；①ザルトラップ _____ mg (4mg/kg) (60分点滴静注) day1

②イリノテカン _____ mg (150mg/m²) (2時間点滴静注) day1

③レボホリナート _____ mg (200mg/m²) (2時間点滴静注) day1

④5-FU 急速 _____ mg (400mg/m²) (15分間で静脈内急速投与) day1

⑤5-FU 持続 _____ mg (2400mg/m²) (46時間点滴静注) day1

遺伝子多型；

※複合ヘテロ及びホモ
では減量を考慮

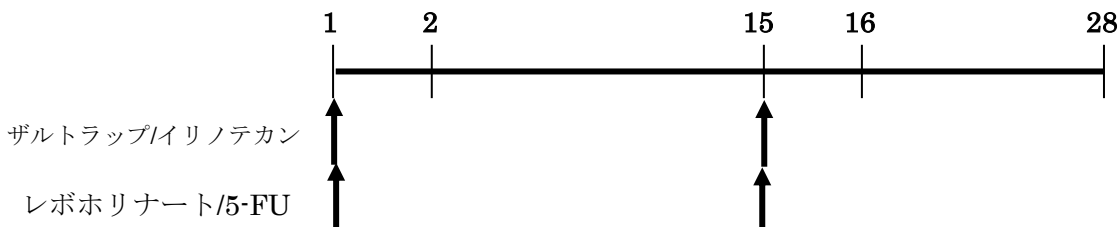
UGT1A1 遺伝子多型		*28		
(○をしてください)		-/-	-/*28	*28/*28
*6	-/-	野生型	ヘテロ	ホモ
	-/*6	ヘテロ	複合ヘテロ	
	*6/*6	ホモ		

制吐薬 グラニセトロン注+デキサート注 6.6mg

イリノテカンによるコリン作動性有害事象に対しては、
禁忌でない限り、硫酸アトロピン注追加を考慮してください

【処方が必要な内服薬】

マグミット 330mg 6錠 3×毎食後 /3日間
カルデ オキシコール酸錠 100mg 3錠 3×毎食後 /3日間
重曹錠 500mg 3錠 3×毎食後 2時間 /3日間



HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介

HBs 抗原(-) → HBs 抗体(-) and HBc 抗体(-)

HBs 抗体(+)-and/or HBc 抗体(+)

HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量

HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン _____